



つばめきた

2025年度 No.8
2025年 12月 2日発行
燕市立燕北小学校
学校ホームページ 2次元コード ↑



言葉選びは自分でづくり

校長 小川 泰文

2階の廊下を通ると、たくさんのメッセージが貼られています。その中の1枚。

4年生へ リコーダーと合唱どちらもきれいでした。二部合唱もがんばったのが伝わってきました！リコーダーもきれいな音が聞こえてきて、たくさん練習したんだなと思いました。5曲も覚えるのが大変なのにすごかったね！！きれいだったよ～！！

文化祭が終わった後、6年生のある子は、「ハートぽかぽかカード」にこのように書いていました。メッセージを受け取った4年生だけでなく、読んだ人すべてが「ハートぽかぽか」ではないでしょうか。「！！」や「～」もこの子の表現の一部です。

また、1年生から6年生まで混じったスマイル班で遊んだ後、3年生のある子は次のように書きました。

ぼくがスマイルウィークをして思ったことは2つあります。

1つめは、みんなをほめることが多くなったことです。2つめはみんなの笑顔がふえたことです。来年も笑顔で遊ぼうと思いました。

「笑顔」という言葉が2回使われています。「楽しい」という言葉はありませんが、きっとそうであったに違いないと想像させます。

本校では、年間を通じてこうしたメッセージのやり取りを行い、子どもたちの良好な関係づくりや自己肯定感アップを目指しています。

子どもたちはカードを前にして、「どんなことを書こうかな」「どんな言葉を使おうかな」と考えます。書くことは、すなわち考えることです。

そして、書いたことは、自分の人柄も表れてきます。その子から出た言葉は、その子自身でもあります。

技術が進歩し、高度な文章もA Iが作成してくれる時代になりました。これによって助けられたり、効率が良くなったりして便利になりました。子どもたちの作文もA Iに依頼すれば、即座に作成してくれます。

こうした技術を取り入れる場面を考えつつ、一方では、子どもたちが悩みながらも自分の言葉で書くことにはこだわっていきたいと考えます。文に限らず、話すことについても、自分でしっかり考えることを様々な場面で大切にしていきたいと。

それは、どんな言葉を使って、どのように表現していくかは、自分という個性をつくっていく大切な作業だと思うからです。

言葉選びは他に任せのではなく、責任をもって自分で行う。時に、言ってはいけないことで失敗しようとも、それが成長のために大切ではないかとも。

師走になり、カレンダーも残り1枚となりました。寒さが一段と厳しい日が続きますが、ともに子どもたちを支え、2学期を締めくくっていきましょう。

スマイルウィーク・スマイルメモリー

子どもたちが企画した「スマイルウィーク」を行いました。1年生から6年生まで混じった班での遊びを通して、仲を深め、互いの良さを発見することが目的です。

ドッジボールや風船バレーなど、子どもたちが話し合ってやりたい遊びを考えました。高学年が上手にリードしたり、優しい言葉掛けを意識したりして、とても温かい雰囲気が感じられました。最終回のスマイルメモリーでは、活動を振り返り、感想を伝え合いました。



いじめ見逃しゼロスクール集会

11月6日、運営委員会が中心となって、「いじめ見逃しゼロスクール集会」を行いました。「いじめを見逃さない、いじめを許さない」ことを全員で確認した後、スマイル班ごとにみんなが楽しめる遊びの計画を立てました。絆を深めるために活発な話し合いが行われました。



また、11月21日は、6年生が燕中学校区合同のスクール集会にオンラインで参加しました。各小学校及び中学校の取組を紹介し合い、感想発表などを行いました。互いの取組の共通点や工夫している点に気付くことができるとともに、小中の交流が図られました。

～ 北っ子の活躍 ～

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| ★ Let's Try Eco 啓発ポスターコンクール | 最優秀賞 4年 E K |
| ★ 新大全国硬筆大会 特選 5年 Y N | 準特選 4年 K M |
| 6年 K K | 5年 K Y |